



いとう
伊藤 おさむの議員レポート

ホット・ホット・越谷

平成 22 年 1 月 発行 No.25

TEL 048-986-9553

E-mail osamuchan@ae.wakwak.com

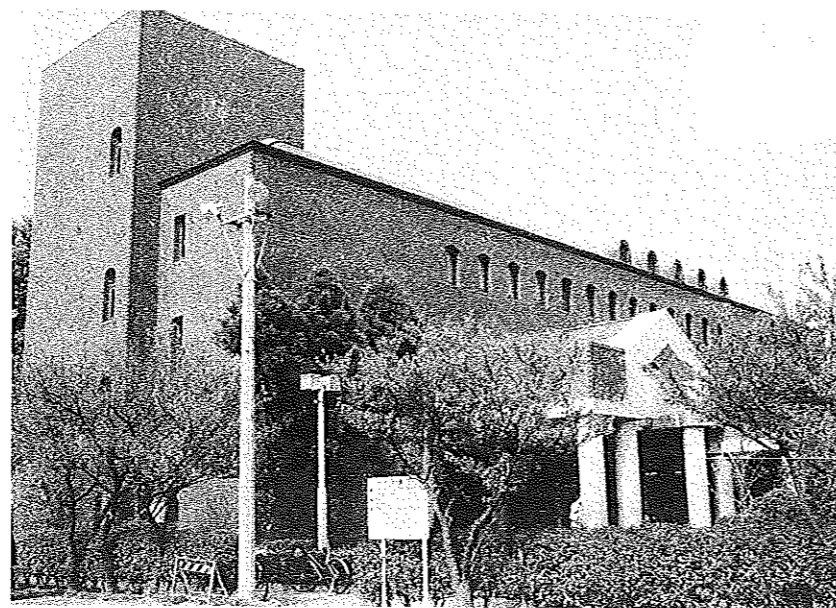
〒343-0841 越谷市蒲生東町 8 番 37 号

FAX 048-989-2397

URL <http://www.starosamuchan.com/>

高齢者に笑顔を！子どもたちに夢を！地域に活力を！

越谷市立図書館は、本離れの子
どもが増加している中、読書を通
して感性を磨き、表現力を高め、
創造性を豊かなものにし、人生を
より深く生き抜く力を身につける
ことができるよう子どもたちの読
書活動を支援するために昭和 58
年 4 月に開館しました。



施設は、鉄筋コンクリート造 3
階建、延床面積 3,235.026 m²、蔵
書収容能力 25 万冊、建設費約 10
億円で、外壁は赤レンガ、屋根は銅葺、時代に左右されず緑に囲まれた図書館です。

開館時間は、火曜日～金曜日：午前 10 時～午後 7 時、土曜日～日曜日及び祝日：午前 9 時 30
分～午後 5 時。休館日は月曜日、振替休日等、年末年始(12 月 29 日～1 月 4 日)。

持論

昨年は、国政選挙で政権交代が、
また市政選挙で政権移譲がそれぞれ
行われた。
その背景には、百年に一度の大不
況を作り出した原因として、国民が
怒りを形にできる明確な矛先が自民
党政権に対する不支持へと向けられ
たものと考えられる。
また、市政選挙でも自民党への市
民の怒りを消し去ることができず、
いったん振り上げた拳がそのまま投
票行動につながったことも否めない。
昨年、民主党はガソリン税の暫定
税率廃止など選挙時に掲げた政権公
約を早くも断念せざるを得ない状況
を露呈させ、国民を欺く迷走ぶりが
鳩山政権下に広がった。
その民主党の推薦を受ける市長が、
昨年十月に誕生したが、新市長の公
約は、「板川市政を継承し民主党と
連携する」である。
新市長は、リーダーシップの欠如
や公約不履行まで連携するのではな
く、独自の判断で一刻も早い市民生
活の安定を模索するべきである。

越谷市議会議員伊藤おさむの議会報告！

「12月定例会報告」

平成 21 年 12 月定例会市議会が、去る 11 月 30 日から 12 月 15 日までの 16 日間にわたり開催され、市長提出議案 30 件、議員提出議案 3 件、委員会提出議案 1 件がそれぞれ承認、可決されました。とりわけ今定例会では、人事院勧告に基づき議員をはじめ市長や職員等の給与を引下げる条例改正議案が先議によって可決され 12 月 1 日から施行されました。

年間の引下げ額

行政職平均(44.6 歳)=124,954 円

市長=366,300 円

副市長=307,980 円

収入役=273,780 円

常勤監査委員=194,490 円

教育長=273,780 円

議員=185,400 円

一般質問から

今回の一般質問は、昨年 10 月に新しい越谷市長が誕生して初めての議会ということで、選挙時に市民と約束した「民主党と連携して板川市政を継承する」という市長公約の実現性について、その整合性を問う質問をいたしました。

後期高齢者医療制度について

後期高齢者医療制度について民主党は、「医療費抑制を狙ったもので差別的な制度であるため廃止する」としているが、板川前市長は、後期高齢者医療制度に賛成の立場を表明している。市長は、後期高齢者医療制度について賛成なのか反対なのか。

治水対策等における八ツ場ダム建設の是非について

政権交代による八ツ場ダム建設中止に対し「埼玉県治水協会」と「利根川治水同盟」の構成員を務める板川前市長が行ってきたことは、埼玉県知事同様八ツ場ダム建設推進の立場であるが、治水対策等における八ツ場ダム建設について市長は賛成なのか反対なのか。

以上、賛成か反対かの質問に対し、いずれも「今後とも国、県の動向に注視していく」と不明確な答弁でしたが、明確な答弁をすることが公約違反につながることを物語っているようでした。

その他の質問

○西大袋土地区画整理事業地内における産業廃棄物問題について

○公約が実現できなかった場合について

※次の手順で録画中継をご覧ください(インターネット検索!!)

越谷市公式ホームページ⇒市議会⇒議会中継⇒議会録画映像を見る⇒

⇒平成 21 年 12 月定例会⇒第 8 日(5 時間 10 分)⇒伊藤 治議員一般質問

蒲生地区(東町)

水害対策を要望

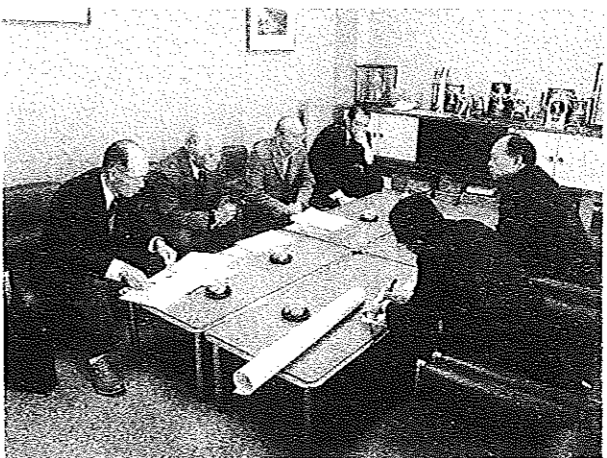
昨年十一月十八日、越谷市役所四階の市議会応接室において、蒲生東町自治会の会長、副会長(二名)とともに、蒲生東町の水害対策について、越谷市(建設部長・治水課長と協議を行いました。

先ず、自治会の方々から台風十八号等により一部で浸水被害が三回続いたことから近隣住民は大変困惑しており、早期の改善を要望するとともに、今日までの経過説明と今後についての説明を求めました。

市側からは、浸水をなくすには雨水管の設置が必要であり、予算的にも大変厳しい状況であるが、市民の安全・安心を担保するには必要な工事と認識していると回答した上で、早急に現地立会を行い今後について検討したいとありました。

その後、十一月二十六日に現地立会を行った結果、雨水幹線の支線(ボックスカルバート)の

整備を検討し、来年度の整備に向け設計業務委託を実施するとともに、支障となる占用物件(N.T.Tケーブル・ガス・水道・下水道)を移設するため、占用事業者との調整等を進めることとなりました。



十二月定例会で

水害問題を指摘

十二月七日、治水対策の重要性を鑑み、越谷市議会の十二月定例会一般質問において、市長に対し次のような訴えをしました。

「用」に対する抗議活動として緊急街宣活動を行いました。

内容は、鳩山首相が中国国家副主席を天皇と会見させるために特例を設けたことと、民主党の小沢幹事長による間違った憲法解釈に対するものです。

鳩山首相は、中国の国家副主席を特例的に天皇に会見させた理由を「大事な方だから」と説明していますが、外国要人は全て「大事な方」であり、特例を用いるべきだったのか疑問を感じております。また、一ヶ月ルールとは、天皇と外国要人の会見は天皇陛下の健康上の理由から過密なスケジュールを避けるために一ヶ月前までに宮内庁に申し入れるという慣例ですが、それを破るといふことは天皇陛下の健康を気遣う配慮が全く感じられません。

一方、民主党の小沢幹事長は、「天皇の国事行為は内閣の助言と承認で行われる」と憲法をもち出し、その正当性を説明しましたが、憲法第七条にあるように天皇の国事行為とは、国会を召集したり衆議院を解散す

「市長の公約の中に、安心度埼玉ナンバーワンの越谷という耳触りのいい言葉があるが、ゲリラ豪雨などという言葉が蔓延する現在では、浸水被害者の中では水害問題が不安心度ナンバーワンになっている。越谷市民の安心度をナンバーワンにするには、先ずこの問題を解決していかなければならない」と市長公約の整合性を指摘しました。

している建物の耐震化を計画的に推進していくため、学校施設耐震化計画を策定しました。学校施設の耐震化の状況は、小学校(三十校)で三五・二%、中学校(十五校)で六六・一%、全体で四五・七%の耐震化率となっており、耐震化完了の目標年度を平成二十七年と定め、優先度の高い順に耐震化工事を行っていきます。

越谷市内の小・中

学校耐震化計画

小・中学校は、児童生徒等にとって一日の大半を過ごす学習の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所となるなど地域の防災拠点として重要な役割を担っています。

越谷市教育委員会では、大規模地震に備え、耐震性が不足し

るなど法的根拠に基づくものであり、今回のような外国要人との会見は国事行為ではなく公的行為とされています。さらに小沢幹事長は、宮内庁長官に対し「どうしても反対なら辞表を提出しろ」と発言しましたが、これが民主党の「政治主導」ならば、民主党の目指す政治とは「独裁政治」に他ならないと考えられます。

国によって要人の扱いに差をつけることは許されることではなく、このことに天皇が利用されることを「天皇の政治利用」と言わずしてなんというの



でしょうか。当日は、寒空の中を多くの方々が立ち止まって耳を傾けてくださり、市民の関心の高さを実感いたしました。

越谷市学生議会

五月十日開催

昨年九月一日から越谷市自治基本条例が施行され、市民のまちづくりへの積極的な参加と、開かれた議会づくりが一層求められることになりました。越谷市議会としては、若い世代の方々に政治参加の場を提供するために、本年五月十日、越谷市議会本会議場において、学生議会を開催することを決定いたしました。

この学生議会は、将来を担う若い世代が議会を体験することによって、市政や議会の役割について関心を持ってもらうとともに、若い世代の意見や要望、提案を市政運営に反映させることを目的としています。当日は議会中継で放映する予定です。

蒲生第二小学校体育館

昨年十二月十六日、私は所属する会派のメンバーとともに、鳩山政権による「天皇の政治利

国の行く末憂い

街宣活動実施

昨年十二月十六日、私は所属する会派のメンバーとともに、鳩山政権による「天皇の政治利